

私たちにできること。

臓器を提供する。移植を受ける。

私たちはどちらの立場にもなる可能性があるから、

一人ひとりが家族と話し、

意思を表示することが大切です。

臓器提供の意思は、NOでもいい。

だから、表示してください。

あなたの“今”を。

移植待機者
15,000人のうち、
1年間で移植を受けられる人
わずか**2.0%**

移植を受けられずに
亡くなる方も
多いんだよ



臓器提供で
1人が救うことができる
最大の人数
11人



臓器提供の流れ

- 1 病院に入院
- 2 医師からの
選択肢提示
OR
家族からの申し出
- 3 臓器移植
コーディネーター
からの説明
- 4 家族の意思決定
- 5 脳死判定
(脳死後の提供時のみ)
- 6 移植を受ける
患者の選択
- 7 臓器の摘出手術
- 8 身体のお返し

● **意思は誰でも表示できるの？**
意思を表示することに年齢の上限はなく、薬を服用されている方など、どなたでも表示できます。

● **意思はどのように確認されるの？**
病院で最善の救命治療を受けた結果、回復の見込みがない場合、医師が家族へ病状の説明と、臓器を提供する・しないの意思確認をすることがあります。また家族が医師へ意思表示欄を提示することも、本人の意思を伝えることが可能です。

● **本人の意思は必要なの？**
意思を表示することは、家族が意思決定をする際の迷いや負担を減らし、助けとなります。また提供しないという意思表示の場合、家族の決定にかかわらず提供されることはありません。

● **提供後、身体はどうなるの？**
入院している病院で摘出手術(3~5時間)をした後は家族の元へ戻ります。傷口はきれいに縫い合わせ、外から見てもわからなないようにします。その後は、通夜や葬儀など大切な方々との時間を過ごしていただけます。

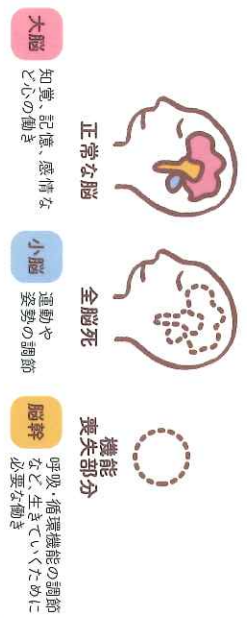
● **提供は誰でもできるの？**
がんや全身性の感染症で亡くなられた方は提供できないなど、実際の臓器提供時に医学的検査をして判断します。これまで0~70歳代の方からの臓器提供が行われています。

● **臓器はどこでも提供できるの？**
病院で亡くなったときに提供できる場合があります。心臓が停止した死後の提供は、手術室のある病院であればどこでも提供できます。脳死後の提供は、大学附属病院等の高度な医療を行える施設でできます。



脳死ってなに？

脳死とは、脳の全ての働きがなくなった状態です。どんな治療をしても回復することはない、人工呼吸器などの助けがなければ心臓は停止します。回復する可能性がある植物状態とは全く別の状態です。



ご存知ですか？ 親族優先

親族への優先提供の意思も表示することができます。提供は、以下の3要件を全て満たす場合のみ可能です。

- 1 本人(15歳以上)が臓器を提供する意思表示に併せて、親族への優先提供の意思を书面により表示している。
- 2 臓器提供の際、親族(配偶者※1、子ども※2、父母※3)が移植希望登録をしている。
- 3 医学的な条件(適合条件)を満たしている。

※1 婚姻届を出している方です。事実婚の方は含まれません。
※2 実の親子のほか、特別養子縁組による親子及びの養父母を含みます。

その他の留意事項

- 医学的な条件などにより移植の対象となる親族がない場合は、親族以外の方への移植が行われます。
- 優先提供する親族の方を指定(名前を記載)した場合は、その方を含めた親族全体への優先提供意思として取り扱います。
- 「○○さんだけにしか提供したくない」という提供先を限定する意思表示があった場合には、親族の方も含め、臓器提供が行われません。
- 親族提供を目的とした自殺を防ぐため、自殺した方からの親族への優先提供は行われません。

いつでも変更！ YES⇄NO!

意思はいつでも、何度でも変更できます。変更する場合は、二重線で消して書き直してください。また意思は日本臓器移植ネットワークのホームページからも表示(登録)でき、内容を変更すると、その度に新しいカードが手元に届きます。

